【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【公表番号】特表2014-534030(P2014-534030A)
【公表日】平成26年12月18日(2014.12.18)
【年通号数】公開・登録公報2014-070
【出願番号】特願2014-539902(P2014-539902)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　16/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　16/06　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年10月9日(2015.10.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
陽圧呼吸療法の提供に用いられるインタフェースにおいて、前記インタフェースが、
マスクシールとマスクベースとを含むマスクアセンブリであって、全面的に使用者の顔の鼻の鼻梁より下側に位置決めされるように構成された、且つ前記使用者の前記鼻の鼻尖の露出をもたらすように構成されたマスクアセンブリ；
を含み、
前記マスクベースが、中心部分と、前記中心部分の後方に湾曲する一対のウィングとを含み、前記ウィングが前記中心部分より大きい垂直方向の広がりを有し、前記マスクベースの前記中心部分にコネクタ用の開口が形成され；
前記マスクシールが前記マスクベースに連結され、前記マスクシールが前記マスクベースに隣接して肉厚化領域を含み、前記マスクシールが、下側部分にある少なくとも１つの口用開口と、上側部分にある少なくとも１つの鼻用開口とを含み、前記少なくとも１つの口用開口が、前記コネクタ用の前記開口の反対側に位置決めされ、前記少なくとも１つの鼻用開口が、前記コネクタ用の前記開口と前記口用開口との間に前後方向に位置決めされ；
且つ、前記マスクシールが第１のパドルと第２のパドルとを含み、前記第１のパドルと前記第２のパドルとの間に上面が位置決めされ、それにより前記第１のパドルと前記上支持面と前記第２のパドルとによって上方に開放した谷部が画定され、前記少なくとも１つの鼻用開口の少なくとも一部分が、前記谷部の範囲内で前記上面に位置決めされ、前記第１のパドルが第１のポケットを含み、前記第２のパドルが第２のポケットを含み、前記第１及び第２のポケットが、前記マスクアセンブリ内に画定されるチャンバと流体連通している、インタフェース。
【請求項２】
前記マスクシールが、前記使用者の前記鼻の下で、前記鼻に隣接する前記使用者の顔の一部分に沿って、且つ前記使用者の口の周りで密閉するように適合される、請求項１に記載のインタフェース。
【請求項３】
前記マスクアセンブリが、前記使用者の前記鼻の前方に向く部分を一切覆わないように構成される、請求項１又は２に記載のインタフェース。

【請求項４】
前記上面が、前記第１及び第２のパドルの内側部分の間にハンモック状に吊り下がる、請求項１～３のいずれか一項に記載のインタフェース。
【請求項５】
前記上面に対する下向きの圧力により、前記第１及び第２のパドルが互いの方に撓む、請求項４に記載のインタフェース。
【請求項６】
前記シール部材が、前記使用者の前記顔に接触するように適合された後面を含み、前記後面が第１の突起と第２の突起とを含む、請求項１～５のいずれか一項に記載のインタフェース。
【請求項７】
前記第１の突起の少なくとも一部分及び前記第２の突起の少なくとも一部分が、垂直方向において前記上面と前記少なくとも１つの口用開口の最上部との間に位置決めされる、請求項６に記載のインタフェース。
【請求項８】
前記第１の突起の前記一部分が第１の尖端を含み、前記第２の突起の前記一部分が第２の尖端を含む、請求項７に記載のインタフェース。
【請求項９】
前記第１の尖端及び前記第２の尖端が、垂直方向において前記少なくとも１つの鼻用開口の一部分と前記少なくとも１つの口用開口との間に位置決めされる、請求項８に記載のインタフェース。
【請求項１０】
前記第１の尖端及び前記第２の尖端が、垂直方向において前記少なくとも１つの口用開口と比べて前記少なくとも１つの鼻用開口のより近くに位置決めされる、請求項９に記載のインタフェース。
【請求項１１】
前記マスクシールが、前記顔の２つの位置に係留するように適合される、請求項１～６のいずれか一項に記載のインタフェース。
【請求項１２】
前記マスクシールが、前記下唇より下側及び前記鼻より下側に係留するように構成される、請求項１１に記載のインタフェース。
【請求項１３】
前記マスクシールが、前記下唇より下側ながら前記顎よりは上側及び前記鼻より下側に係留するように構成される、請求項１１に記載のインタフェース。
【請求項１４】
前記２つの位置は前記鼻の底部より下側にあるが、前記マスクシールは前記鼻の前記底部を越えて上方に延在する、請求項１１に記載のインタフェース。
【請求項１５】
前記マスクシールが、垂直方向において最上係留位置より上側の位置で顔に当接して密閉するように適合される、請求項１４に記載のインタフェース。
【請求項１６】
前記上面が、前記少なくとも１つの鼻用開口を取り囲む領域で下方及び後方に傾斜している、請求項１～５のいずれか一項に記載のインタフェース。
【請求項１７】
前記第１のパドル及び前記第２のパドルの内側に向く部分と比べて、外周部分の硬さが増加している、請求項１～５のいずれか一項に記載のインタフェース。
【請求項１８】
前記第１のパドル及び前記第２のパドルの前記内側に向く部分と比べて、前記外周部分の厚さが増加している、請求項１７に記載のインタフェース。
【請求項１９】

前記マスクアセンブリと前記使用者の前記顔との間に僅かに上向きの力の加力を提供するように適合されたヘッドギアアセンブリをさらに含む、請求項１～１８のいずれか一項に記載のインタフェース。

【請求項２０】

前記マスクアセンブリ及び前記ヘッドギアアセンブリが、垂直方向には前記眼より上側のいかなる位置においても、水平方向には前記眼の外側の間の位置で、前記マスクアセンブリ又は前記ヘッドギアアセンブリの一部分が前記使用者の前記顔に接触しないように構成される、請求項１９に記載のインタフェース。